



かけはしの会(左から2,3人目)から高校生に感謝が伝えられました

「かけはしの会」から 本の寄贈

8月26日(火)

島根県、鳥取県で小児がん患者とその家族のために活動する団体「かけはしの会」から書籍が寄贈されました。

これは、飯南高の3人の生徒が、生命地域学の課題研究として、小児がん支援の活動を行ったことがきっかけ。小児がんの啓発や、「がんと闘う子どもたち」に役立ててほしいと、町内で募金活動を行い、同団体に寄付しました。

寄贈された小児がんに関する書籍や絵本は、町内の小中学校と町立図書館に並べています。

メディカフェを開催

8月11日(日)



お互いに親睦が深まる会となりました

町内の医療機関や福祉施設等での勤務を希望している学生や医師などを対象に、いーなんメディカフェを開催しました。
当日は、学生と医師、歯科医師の計11人と、町内の医療・福祉の職場に勤務する職員が参加。軽スポーツ「モルック」を通して、和気あいあいとした雰囲気になりました。
続いて町内で働く先輩職員が働く上で感じていることなどを話し合い、グループ毎に意見交換を行いました。
今後もこのような機会を持ち、医療・福祉従事者の確保対策に取り組めます。

二十歳のつどい

8月15日(金)



代表として誓いの言葉を述べる内田康太さん

「飯南町二十歳のつどい」を来島交流センターで開催しました。
今年度の対象者は平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた人です。
式典には31人が出席。来賓祝辞、記念品受領の後、代表者が誓いの言葉を述べました。
式典後には交流会を開催し、飯南神楽団による神楽や、まちにちなんだクイズで盛り上がりしました。中学校の恩師の登場やビデオメッセージもあり、20歳を迎えた皆さんにエールが送られました。



大迫力の神楽を目の前で鑑賞



20歳を祝し笑顔で記念撮影

島根県知事へ要望活動

8月27日(水)

丸山知事に対して、次のとおり重点要望活動を行いました。

飯南病院の医療従事者等の確保

①住民が安心して暮らせる医療の提供体制が維持できるよう、引き続き飯南病院への医師派遣など特段の配慮
②確保が厳しい状況が続く薬剤師、看護師等の医療従事者の補充について、中山間地域の医療確保のための体制が維持できるよう、特段の支援と配慮

高齢者福祉施設整備等への支援

新施設建設にあたり、引き続き法人の事業統合等を円滑に進めるための技術的助言及び財政支援の予算確保

公共事業の安定的な予算確保

①赤名トンネル改修事業が早期完了するよう、事業推進への協力。防災要対策箇所や老朽化が進むトンネルが存在する区間の抜本的な対策
②「快適な環境で安心して生活できるまちづくり」に必要な道路整備等、インフラ整備の財源となる交付金及び道路メンテナンス



施策や課題を説明し、町長と議長が要望書を提出

ス補助金の特段の配慮

丸山知事からは、「医師の確保は、全県的な要望でもあることから、関係者と共に取り組みたい。医療従事者が必要とされる地域への配置が可能となるよう、制度設計をお願いしていきたい」「高齢者福祉施設等への支援は、円滑に施設が設置されるよう、必要なアドバイスを行っていききたい」「公共事業の安定的な予算確保は、関係者と連携した事業の推進に取り組み、国に対して必要な交付金が配分されるよう、要望してまいりたい」などの回答をいただきました。

飯南町秋季 畜産共進会を開催

8月22日(金)

飯南町畜産センターで「令和7年度飯南町秋季畜産共進会」を開催。今回は「子牛の部」に15頭、「種牛の部」に6頭が出品されました。主な結果は次のとおりです。

【子牛の部】

●首席

山本弘和 愛牛「みく号」

●次席

竹田原護 愛牛「たけゆり号」

●三席

土江勝美 愛牛「つちあき号」

●四席

(農)かわしり 愛牛「ゆりな号」

●五席

渡部雅弘 愛牛「ゆず号」

【種牛の部】

●首席

渡部雅弘 愛牛「まりあ号」

●次席

松原健吾 愛牛「きなこ号」

●三席

山田多美子 愛牛「ゆりは号」
(敬称略)

上位入賞の牛は、「島根中央子牛共進会」・「島根県種畜共進会」に出品されます。

上智大学学生が 本町で視察調査

8月27日(水)
～30日(土)

上智大学の教授や学生など7人が本町を訪れ、現地調査を行いました。

今回は、河川や浄水場、農業用水の水質や豪雨時における河川周辺施設の状態の調査、気候変動や少子高齢化対策といった社会調査を実施。働き手確保対策や気候変動対策について、町内の事業者や町職員と意見交換を行い、本町の取組に理解を深めました。

調査を通して本町の農業振興や社会課題の解決に取り組めます。



気候変動対策などについて農家へインタビュー